

## ボストン

2014年6月~ 2024年1月滞在

(2025年記)

子どもの年齢: 1-10歳 (現地校と補習校)

基本情報	
気温	四季があり、1年を通して日本の札幌に似た気候
	夏は最近気温が上昇しており、クーラーがある方が過ごしやすい
	冬は休校になるほどの大雪や凍結に注意
緊急電話	警察 消防 救急全て911
電圧	120V (二つ穴のコンセントが多いが三つ穴もある)
水	水道水も飲めるが浄水器をつけている家庭が多い

買い物	
日本の物	MARUICHI(日本食料品)、MUJI(無印良品)、ユニクロの店舗がある
	Amazon でも日本の物を手に入れやすい
食料品	現地で人気のある Trader Joe's や Whole Foods Market は旬の果物や野菜、健康を意識した商品、各国
	の調味料など手に入れることができておすすめ
	Stop & Shop、Market Basket、Wegmans はいわゆるアメリカ食材が主なスーパーマーケット
	H mart は韓国系のスーパーだが、アジア料理で使う野菜をはじめ日本の食料品も数多く取り揃えている
日用雑貨	大型ストア Target は雑貨から食料品、衣類、家電、家具、本、薬と殆ど何でも手に入る
学用品	上記の Target に加え、大型クラフトショップ Michaels や最近では Amazon で購入する人が多い
	新学期に必要な学用品は学校でまとめて買うこともできるので、それも一つ
	補習校で日本の学用品(ノート等)を販売することもある
衣類	大型ショッピングモールで家族全員分、大体揃えることができる
	ユニクロが店舗を増やしているので日本から大量に買って帰る必要はない
	(但しサイズが日本とは違うので注意)

バス、地下鉄、コミューターレール(鉄道)
車がなくても大体どこにでも行ける
空港や駐車場が限られている市内に行く場合は Uber の利用者も年々増えている
移住者は MA 州の免許証を取得する必要がある

住宅事情	市の中心はコンドー(日本でいうマンション)が多い
	古いコンドーだと各部屋に洗濯機はなく、住民で洗濯室を共有するケースがある

車がなくても公共交通機関が発達しているので、市から少し離れても一軒家を選ぶ人も多数いる

住居

日本人が多く	地下鉄で市内に通うことができる Brookline、Cambridge、Newton、Alewife
住むエリア	ボストン・補習校(ボストン日本語学校)に近い、また車があると便利な Lexington,Arington も人気
使用人	庭師、ハウスクリーニングやベビーシッターを委託する家庭が多い
治安	全米の中でも比較的安全な街だが、エリアによって夜間は特に警戒が必要なこともある
セキュリティ	家探しの際は、その街の中心地を時間を変えて雰囲気を見に行くことも一つ
	また担当の不動産業者から情報を聞く

教育	
通った学校	Ambrose Elementary School
通った学校の	生徒は地元のアメリカ人が殆どで、ESL は特になかったと記憶
詳細	ESL や Special Needs Education を必要とする生徒は教員、施設ともに充実している同じタウンの別校舎
	に学区外からも通学できた
塾	Kumon、Russian Math 、Singapore Math が当時人気があった
家庭教師	大学受験を目指す高校時から家庭教師をつける家庭もある
習い事	学校が終わる時間も早いので、多くは習い事をしている
	スポーツ系は地域のチームに所属することが多い(サッカー、バスケットボール、アイスホッケー等)
	水泳、空手やダンス、新体操やテニスも人気
	楽器はピアノやバイオリンを習う人が多い
アドバイス	小さい頃は「色々と体験させることが大事」だと考える両親は多く、子どもが嫌がれば他の習い事にすぐ
	に変える人が多かったです。その為かトライアルのある教室が殆どで、気軽に試すことができます。
	一度辞めても、自主的に再挑戦する子も多く、親子でストレスレスで続けることも大事だと感じました。

抦阮	
医療事情	人気のある医師は新患を受け付けていないことが多い
	まずは PCP(Primary Care Physician)を決めることがとても大事
	通訳をつけることも可能なので、自分が安心して診察をお願いできる医師探しを
	小児科に関して家から近いところで探すことをおすすめ
日本人医師	内科医、婦人科医、歯科医師など、複数
薬品	医師に聞いても殆ど Over the counter といって市販薬ですむケースが多い
	日本より高濃度の成分が含まれていることがある

交流	
日本人	補習校に通われる場合は保護者会などを通して知り合うことも多い
	子どもや自身の習い事を通して、または近所の公園、ネットワークで人脈を広げる
現地の人	住んでいる町や校内のボランティア活動に参加することで知り合える
	図書館主催のイベントでも同じことに関心を持つ人との出会いがある
	子どもが小さいうちは、招待されるお誕生日パーティー等も親同伴が多いので繋がりができやすい
駐在外国人	ボストンは日本以外からの駐在も多いイメージ
	市内の方が色々な国から渡米している人達との出会いが多い

## 伝えたいこと

ボストンは学生や研究者が多く、落ち着いた雰囲気でありながら活気に溢れた街です。

アメリカでは珍しく、自分で運転しなくても行きたいところに、いつでも行けるのも魅力の一つです。

春は豊かな自然を楽しめる公園でのピクニック、夏は美しいビーチで磯遊びやメジャーリーグの野球観戦、秋にはリンゴ狩りや 美術館やハーバード大学の自然史博物館で美術鑑賞、長い冬の間はアイススケートにハロウィンやクリスマス等の様々なイ ベントと、子どもから大人まで楽しめることが沢山あり1年を通して飽きることがありません。

日本を離れ、日本語や日本文化を恋しくなるのは当然で、そんな時は日本人との交流はとても大切です。

私がボストンで知り合いになれた人たちは日本人でも、アメリカ人でも、また同じ「アメリカに住む外国人」も、皆さん色々な経験をされ、会話の話題が尽きることがありませんでした。

折角のアメリカ生活!余力がある時にはぜひ、精力的に個々の楽しみや新しい出会いを見つけてみてください。